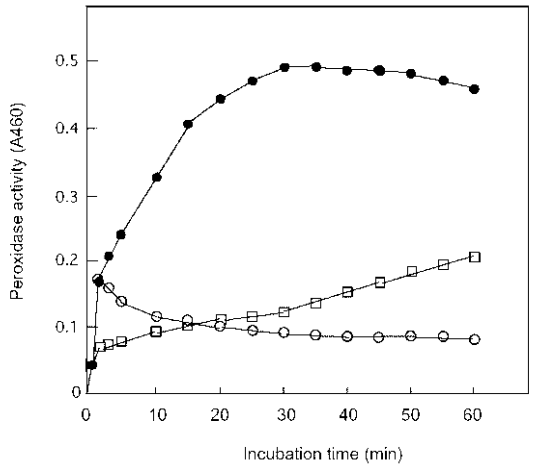
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2008-5838(P2008-5838A)
【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2008-002
【出願番号】特願2007-146291(P2007-146291)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/28　(2006.01)
Ｃ１２Ｍ　1/34　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　21/78　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　21/77　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/28
Ｃ１２Ｍ　1/34　Ｅ
Ｇ０１Ｎ　21/78
Ｇ０１Ｎ　21/77

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月4日(2010.5.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＤＡＢ（３，３’－ｄｉａｍｉｎｏｂｅｎｚｉｄｉｎｅ）及びＧｕａｉａｃｏｌを有効成分として含むことを特徴とする、ペルオキシダーゼ検出用試薬組成物。
【請求項２】
ＤＡＢ（３，３’－ｄｉａｍｉｎｏｂｅｎｚｉｄｉｎｅ）及びＧｕａｉａｃｏｌ｛ｏ（２）－ｍｅｔｈｏｘｙｐｈｅｎｏｌ｝、加えてｄａｐｓｏｎｅ（４，４’－ｄｉａｍｉｎｏｄｉｐｈｅｎｙｌｓｕｌｆｏｎｅ）を有効成分として含むことを特徴とする、ペルオキシダーゼ検出用試薬組成物。
【請求項３】
試料担持部である陰イオン交換フィルターと吸液層を有し、前記試料担持部が試料と請求項１または２記載のペルオキシダーゼ検出試薬組成物を接触させ、酵素反応による発色を固相である試料担持部上で検出することを特徴とする、ペルオキシダーゼ検出用試料保持器およびこれを用いたペルオキシダーゼ検出方法。
【請求項４】
唾液を採取するために口腔内に適用することを特徴とする、請求項３項に記載の試料保持器。
【請求項５】
請求項１～４を用いて検出するペルオキシダーゼが、唾液中のラクトペルオキシダーゼでありラクトペルオキシダーゼ活性を炎症の程度のマーカーとする歯周病判定キット。
【請求項６】
請求項１～４を用いて検出するペルオキシダーゼが、血清中のミエロペルオキシダーゼでありミエロペルオキシダーゼ活性を炎症の程度のマーカーとする炎症判定キット。
【請求項７】

陰イオン交換フィルターと、吸液層を有した請求項３の試料保持器に既知ペルオキシダーゼを共存させ、請求項１のペルオキシダーゼ検出試薬組成物の接触によって発色させる抗酸化活性測定方法および測定キット。

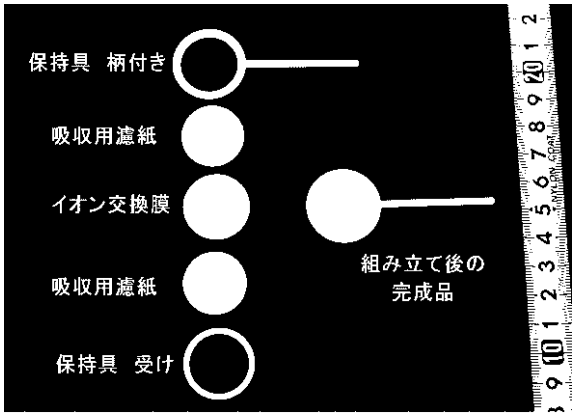
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図１】



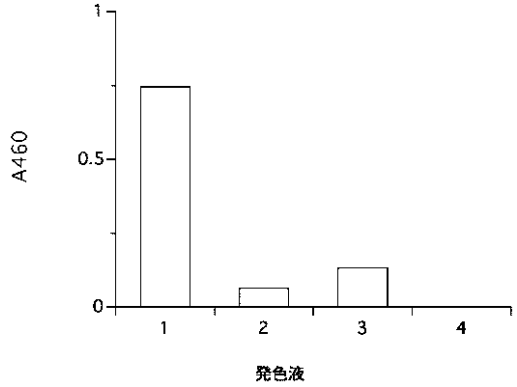
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図２】



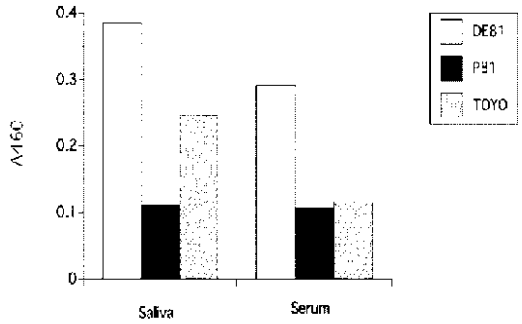
【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図３】



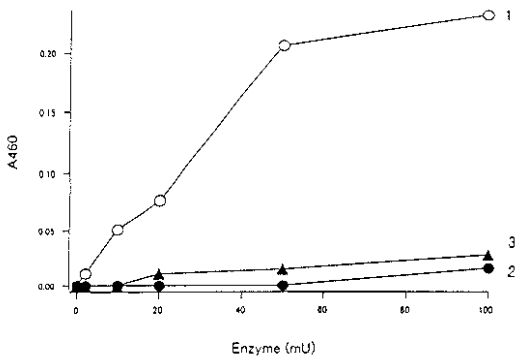
【手続補正５】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図５】



【手続補正６】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図６】

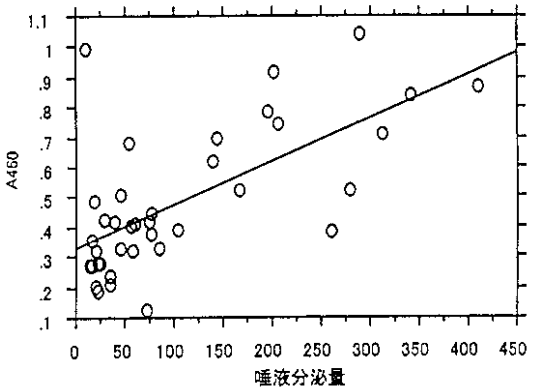


【手続補正７】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図７】



【手続補正８】

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図８】



【手続補正９】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図１４】

